

令和2年度

教 育 要 項

医療情報管理専攻科

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

目 次

序 文	
授業科目及び単位数	1
時間割表	2
礼法	3
レクリエーション実技	5
医療概論	7
臨床医学V	8
プログラミング演習	10
データベース演習	12
基本情報技術	14
セキュリティマネジメント	16
統計演習	17
診療報酬請求事務V	19
DPC演習	21
診療情報管理論II	23
診療情報管理論III	25
医療統計I	26
医療統計II	27
国際統計分類I	28
国際統計分類II	29
試験対策(医学)	30
試験対策(管理)	32
試験対策(総合)	34
診療情報管理ゼミ	35
全学連携演習I・II	37

序 文

21世紀を迎えた現在、我が国は世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎え、医療・福祉の分野には大きな渦が巻き起こっています。人口構造からみた少子化・超高齢化の傾向は、年々拡大し、医療・福祉ニーズの増大と多様化への対応など、社会全体の緊急に解決されなければならない深刻な課題として私たちに投げかけられています。

また、医療保険・年金保険・社会福祉制度の改革等が行なわれ、人々が自立した日常生活を営むことができるための適切な医療・福祉サービスの提供、また医療・福祉・保健の有機的な連携と地域福祉の更なる推進が今後ますます求められてまいります。

昨今、様々な職種で人材不足が叫ばれている中、皆さんは将来、医療機関や社会福祉関係施設、その他関連した職場で、マネジメントリーダーとしての活躍が期待されております。それぞれの職種に必要とされる専門的な知識や技術を学び、強い精神力と行動力の発揮できる人材を目指して下さい。そして、本校の建学の精神でもあります「よき医療・福祉従事者であるとともに情操豊かな人格者であれ」という人間性の確立を目指し勉学に励むことを期待します。

この教育要項は、本校で学ぶ各学科目についての「学習目的・目標・内容」等の指針が示されています。これらは皆さんが計画的かつ主体的に学んでいくための重要な情報で学習意欲の向上に役立つものです。学生生活をより有効に、より有意義に過ごせるよう各学科目についての理解を深め、科目間の関連をよく把握するため、この教育要項を十分に活用することを希望します。

なお、各教科に関連する専門図書を多数用意しておりますので、学習内容を補強するためにも、図書室の有効活用を奨励します。

2020年4月1日

学 校 長 川野竜太郎

【医療情報管理専攻科】

授業科目			卒業要件		授業形態			履修時期	
			単位数	時間数	講義	演習	実習	前期	後期
一般教養 科目	1科目選択	礼 法	1	30		○		○	
		レクリエーション実技				○		○	
医学基礎 科目	医 療 概 論		2	30	○			○	
	臨 床 医 学 V		2	30	○			○	
専 門 技 術 科 目	デー タ サイ エ ン ス	プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	2	60		○		○	○
		デ ー タ ベ ー ス 演 習	1	30		○			○
		基 本 情 報 技 術	2	30	○			○	
		セ キ ュ リ テ ィ マ ネ ジ メ ン ト	2	30	○				○
		統 計 演 習	1	30		○			○
	診 療 報 酬 請 求 事 務 V (医 科)		1	30		○		○	
	D P C 演 習		2	30		○		○	
	診 療 情 報 管 理 士	診 療 情 報 管 理 論 II	2	30	○			○	○
		診 療 情 報 管 理 論 III	1	15	○				○
		医 療 統 計 I	1	15	○				○
		医 療 統 計 II	1	15	○			○	
		国 際 統 計 分 類 I	3	45	○			○	○
		国 際 統 計 分 類 II	2	30	○			○	
		試 験 対 策 (医 学)	3	90		○		○	○
試 験 対 策 (管 理)		2	60		○		○	○	
試 験 対 策 (総 合)		7	210		○			○	
診 療 情 報 管 理 ゼ ミ		3	90		○		○		
その他	全 学 連 携 演 習		1	15		○		○	○
合 計 (最 低 卒 業 要 件 単 位 数 ・ 時 間 数)			42	945					

医療情報管理専攻科

令和2年度 前期 時間割

		月	火	水	木	金	土
1	9:10 ～ 10:40	診療情報 管理ゼミ	プログラミング 演習 福元進 30/60	セキュリティ マネジメント 福元進 30/30	医療統計Ⅱ 鶴田来美 15/15	レクリエーション 実技（選択）	国際統計 分類Ⅱ 丸山こずえ 45/45
2	10:50 ～ 12:20	崎田ゆかり 90/90	試験対策 （医学） 崎田ゆかり 30/90	礼法（選択） 濱田美穂 30/30	試験対策 （管理） 福元進 30/90	由川豊和	臨床医学Ⅴ 宮本浩仁 15/15
3	13:10 ～ 14:40	医療概論 櫛橋弘喜 30/30	臨床医学Ⅴ 入船裕子 15/15	国際統計 分類Ⅱ 馬原裕加里 30/30	ガイダンス 馬原裕加里	DPC基礎 馬原裕加里 30/30	
4	14:50 ～ 16:20	診療報酬 請求事務Ⅴ 馬原裕加里 30/30		試験対策 （医学） 崎田ゆかり 30/90	全学連携 演習 教務 15/15		

※ 9/23～24 日本診療情報管理学会参加

令和2年度 後期 時間割

		月	火	水	木	金	土
1	9:10 ～ 10:40	プログラミング 演習	基本情報 技術 福元進 30/30	試験対策 （総合） 福元進 30/210		試験対策 （医学）	国際統計 分類Ⅰ 丸山こずえ 45/45
2	10:50 ～ 12:20	福元進 30/60	診療情報 管理論Ⅱ・Ⅲ 馬原裕加里 45/45	試験対策（総 合） 馬原裕加里 30/210	ガイダンス 馬原裕加里	崎田ゆかり 60/90	
3	13:10 ～ 14:40	診療情報 管理論Ⅱ・Ⅲ 馬原裕加里 45/45	試験対策 （管理）	統計演習	医療統計Ⅰ 福元進 15/15	データベース 演習	
4	14:50 ～ 16:20		福元進 60/60	平田賢一 30/30	全学連携 演習 教務 15/15	福元進 30/30	

※ 1/7～試験前日まで 診療情報管理士認定試験対策

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	15回
講師名	濱田 宗穂（美穂）（非常勤講師）
授業形態	演習
備考	医療情報管理科と合同授業

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①医療に従事するスタッフとして必要不可欠な礼儀作法を身につける
- ②医療現場で起こりうるあらゆる事態に平常心で対処できる精神を養う

(2) 行動目標

和 敬 清 寂

- ① 和…他人との関わりの中で、思いやり、心づかいの表現
- ② 敬…社会人としての基本的な挨拶がきちんとできる
- ③ 清…始めの準備、後片づけ、整理・整頓の応用
- ④ 寂…どんな時でも動じずに行動できる

2 学習上の注意

実技に伴い服装の基準を設ける
 女子…スカート、白いソックス
 男子…白いソックス

3 評価の方法及び基準

実技を通して、集中力・協調性をみていく

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

教本…学校茶道

(2) 参考文献等

千 宗室 著 「茶の真諦」

(3) その他

教材として、帛紗、せんす、かいし、ちやせん、ちやきん、まつちや、ぬし

5 講義内容

回	講 義 内 容	
1	座禅 10分	教材の説明、お辞儀の仕方
2	〃	お菓子の戴き方、お茶の戴き方
3	〃	席入の仕方（襖の開け方、閉め方）
4	〃	〃 （歩き方、掛け軸拝見）
5	〃	〃 （茶花の鑑賞、立ち方、坐り方）
6	〃	盆略点前 帛沙の扱い
7	〃	〃 なつめ〃
8	〃	〃 茶杓 〃
9	〃	〃 茶巾 〃
10	〃	〃 茶筌 〃
11	〃	〃 主、客の挨拶
12	〃	〃 器物の鑑賞
13	〃	茶の湯の歴史（講義）
14	〃	テスト（茶のこころ、茶の歴史）
15	学校茶道連絡協議会主催茶会参加	

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	15回
講師名	由川 豊和 (非常勤講師)
授業形態	講義・演習・実技
備考	選択科目 (介護福祉科、医療情報管理科と合同)

1 学習目標

(1) 一般目標

- ① 福祉現場ですぐに生かせるレクリエーション実技を体験的に学び、レクリエーション援助のための知識と技術を身につける。

(2) 行動目標

- ① サービス提供者としての基本的態度を形成するため、ロールプレイ学習方法で援助技術を深める。
- ② グループ活動から個別指導実施により創意・工夫および応用ができる。

2 学習上の注意

- (1) 演習によるフィードバック中心で、資料忘れ等チェックする。
- (2) 実技では体操服・体育館シューズ着用し忘れた者は見学する。

3 評価の方法及び基準

- (1) 出席状況及び受講態度。
- (2) レポート提出 (レク支援者としての意識)
- (3) 科目修得試験 (実技・演習)

4 使用テキスト・参考文献等

- (1) 使用テキスト
講師作成資料を随時配布
- (2) 参考文献
 - ① 楽しさをとおした心の元気づくり <日本レクリエーション協会>
 - ② レクリエーション活動援助法 <中央法規出版>
 - ③ 福祉レクリエーションの援助 <中央法規出版>
 - ④ 楽しいレク・リハビリ実践本 <日本レク出版>
 - ⑤ 懐かしい愛唱歌集 <宮崎県老人クラブ連合会>
 - ⑥ あしすと <全国福祉レクリエーションネットワーク研究誌>

(3) 参考文献

- ① 実技等解説書及び自己評価表

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	・ ガイダンス 学習を学ぶにあたって
2	・ レクリエーション基礎理論 レクリエーションとは
3	・ コミュニケーションワーク 信頼関係づくりの方法・ホスピタリティー
4	・ コミュニケーション・ゲーム 楽しい福祉レクの実践
5	・ レクリエーション支援理論 コミュニケーションと信頼関係づくり
6	・ コミュニケーション・ゲーム 楽しい福祉レクの実践
7	・ レクリエーション活動の習得 ニュースポーツ（実技・体育館）
8	・ カローリング体験
9	・ レクリエーション支援の方法 アイスブレイキングの意義と基本技術
10	・ アイスブレイクによるアイスビルド演習
11	・ レクリエーション活動の習得 創って遊ぶ（素材の活用）
12	
13	・ レクリエーション支援の方法 自主性、主体的に楽しむ力を育む展開方法
14	・ モデル・プログラムの演習、安全管理
15	・ 科目修得試験（理論・実技）

医療概論

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	楢橋 弘喜 (非常勤講師)
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

医学を社会的に適用させてはじめて医療が成り立つものである。医学と医療に関する歴史の変遷を知ったうえで、医療の現状を理解する

(2) 行動目標

社会保障制度の枠組みである所得保障、医療保障、公衆衛生、社会福祉の原則と実態を知る
関係法規の知識を得て、医療の社会的役割を理解する

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

出席状況、授業態度、科目修得試験

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I

5 講義内容

回	講義内容
1	医学と医療 (1) 医学・人間の生命にかかわる科学 (2) 医学・医療の分化と統合 医学と医療の歴史
2	(1) 医学の起源
3	(2) 古代の医学 (～5 世紀)
4	(3) 中世の医学 (5～16 世紀)
5	(4) 近世の医学 (16～19 世紀)
6	(5) 二十世紀の医学
7	(6) 我が国の医学と医療の歴史
8	(7) 現代医療 医療概論
9	(1) 医の倫理
10	(2) 社会保障制度
11	(3) 医療制度
12	(4) 医療法と医療計画
13	(5) 地域保健と公衆衛生
14	(6) 予防医学
15	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	通年
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	入船 裕子・宮本 浩仁（非常勤講師）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

精神および行動の障害について、その分類の意味とその原因、症状、所見、診断根拠、治療法などの概要を理解し、疾患の適切な ICD コーディングにつながる基礎知識を修得し、応用することを目標とする。

皮膚科疾患（一部膠原病内科疾患）、整形外科疾患の概要と症状、治療法、予後等について学びそれが、将来の仕事に役立つようになること。

(2) 行動目標

- ①精神および行動の障害に分類されている各疾患とその分類を理解する。
- ②各疾患の原因、特徴、症状、診断法、治療などの知識を得、説明することができる。
- ③精神および行動の障害について得た知識を基に、患者や家族に対する関わりの中で応用できる。
- ④皮膚疾患、結合組織疾患、筋骨格疾患について正しく理解し、社会に出た際に、その知識が応用できるようになること。

2 学習上の注意

日頃より社会の動向、医療、福祉に関心を持ち、情報収集に努めること。
課題に対して意欲的に取り組み、レポート等提出期日を厳守すること。

3 評価の方法及び基準

科目修得試験・小テスト・受講意欲・レポート課題・出席状況を総合して評価する。

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編 社団法人日本病院会
ICD-10 精神及び行動障害 臨床記述と診断ガイドライン 医学書院

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	症状性を含む器質性精神障害（アルツハイマー病の認知症・血管性認知症）
2	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害
3	気分〔感情〕障害
4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害
5	パーソナリティおよび行動の障害
6	知的障害（精神遅滞）
7	発達障害（自閉症・アスペルガー症候群・ADHD等）
8	皮膚皮下組織疾患の総論、1 蜂巣菌、2 水疱症、3 皮膚炎および湿疹
9	4 丘疹落屑（鱗屑）性障害、5 蕁麻疹および紅斑、6 放射線皮膚炎、7 付属器の障害
10	8 その他の障害、9 悪性新生物
11	関節障害
12	全身性結合組織障害
13	脊柱障害
14	軟部組織障害、骨格系の障害および結合組織のその他の障害
15	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	通年
履修時間数	60時間
単位数	2単位
授業回数	30回
講師名	福元 進 (専任講師)
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①診療情報管理士として、必要な情報処理の応用技術を修得する。
- ②特に、システム構築・評価ができるようになる。

(2) 行動目標

- ①アルゴリズムを理解できる。
- ②プログラムを検討、作成、考察できる。
- ③プログラムを評価できる。

2 学習上の注意

主にコンピュータ室を使用する。設備や機器の取扱いには充分注意すること。
 演習は継続するものが多い為、欠席をしないこと。
 途中で投げ出さず、やり抜く忍耐力も身につける必要がある。

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
各回で作成する課題の評価	80%
受講態度・出席状況	20%

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

- ①講師作成による資料

(2) 参考文献等

- ①VisualBasic ガイド

(3) その他

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	アルゴリズム、オブジェクトの理解（名称、役割、プロパティ）
2	ラベル、テキストボックスを使ったプログラム①
3	ラベル、テキストボックスを使ったプログラム②
4	データ形式の理解、計算を行うプログラム
5	変数の理解、繰り返しの処理
6	乱数処理
7	配列の理解
8	色々なオブジェクト（ラジオボタン、チェックボックス）
9	メッセージボックス、インプットボックス
10	処理が動くタイミング
11	コンボボックスとリストボックス
12	複数のフォーム
13	プロシージャの理解、グローバル変数の理解
14	ソートのアルゴリズム
15	グローバル変数を用いたプログラム①
16	グローバル変数を用いたプログラム②
17	グローバル変数を用いたプログラム③
18	スロット感覚プログラムの作成①
19	スロット感覚プログラムの作成②
20	タイマーを用いたプログラム
21	コンボボックスと配列
22	繰り返し処理（応用）
23	15パズルのアルゴリズム、プログラミング
24	標準モジュールの理解
25	復習演習①
26	復習演習②
27	復習演習③
28	リンゴ拾いゲームの作成①
29	リンゴ拾いゲームの作成②
30	リンゴ拾いゲームの作成③

履修学年	第1学年
履修時期	通年
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	15回
講師名	福元 進 (専任講師)
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①診療情報管理士として、必要な情報処理の応用技術を修得する。
- ②簡単なデータベースの構築、評価ができる知識と技術を修得する。

(2) 行動目標

- ①正規化ができる。テーブル設計ができる。
- ②クエリの作成ができる。
- ③フォーム、レポートの作成ができる。

2 学習上の注意

主にコンピュータ室を使用する。設備や機器の取扱いには充分注意すること。
演習は継続するものが多い為、欠席をしないこと。
途中で投げ出さず、やり抜く忍耐力も身につける必要がある。

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
各回で作成する課題の評価	80%
受講態度・出席状況	20%

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

- ①講師作成による資料

(2) 参考文献等

(3) その他

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	正規化、テーブル設計の復習
2	ACCESSの基本操作①
3	ACCESSの基本操作②
4	データベース作成①（課題1）
5	データベース作成②（課題1）
6	データベース作成③（課題1）
7	データベース作成①（課題2）
8	データベース作成②（課題2）
9	データベース作成③（課題2）
10	データベース作成①（課題3）
11	データベース作成②（課題3）
12	データベース作成③（課題3）
13	データベース作成①（課題4）
14	データベース作成②（課題4）
15	データベース作成③（課題4）

基本情報技術

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	福元 進（専任教員）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①情報化の進む医療の現場で働く者として、あらゆる医療情報を収集・分析・利用できる為の情報技術の基礎・応用を身につける。
- ②日本医療情報学会の実施する「医療情報技師検定試験」の受験科目のうち、情報処理技術編に合格するための知識を身につける。

(2) 行動目標

- ①ネットワークの仕組みを説明できる。
- ②ネットワークの構築ができる。
- ③データベースの設計ができる。
- ④データベースの運用と保守ができる。
- ⑤システムの分析ができる。
- ⑥システムの障害管理について説明できる。
- ⑦セキュリティ技術を列挙できる。

2 学習上の注意

講義と演習を交えて行う。検定や資格試験受験にあたっては、過去問や参考書を活用すること。

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
科目修得試験	90%
出席状況・受講態度	10%

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

医療情報「情報処理技術編」

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	基数変換 (復習)
2	ハードウェア
3	ソフトウェア
4	インターフェース
5	論理回路・論理演算
6	アルゴリズム
7	R A I Dシステム
8	ネットワーク 1
9	ネットワーク 2
10	ネットワーク 3
11	システム評価
12	データベース 1
13	データベース 2
14	データベース 3
15	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	福元 進（専任教員）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①情報処理技術者試験のうち「セキュリティマネジメント試験」合格を念頭に、情報セキュリティ知識を持つ専門職を目指す。

(2) 行動目標

- ①情報セキュリティに関する知識を有する。
②情報セキュリティ対策、管理、関係法規について理解する。

2 学習上の注意

講義と演習を交えて行う。検定や資格試験受験にあたっては、過去問や参考書を活用すること。

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
科目修得試験	80%
出席状況・受講態度	20%

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

徹底攻略 情報セキュリティマネジメント教科書 令和2年度

5 講義内容

回	講義内容
1	情報セキュリティ概論①
2	情報セキュリティ概論②
3	情報セキュリティ概論③
4	リスク分析と評価①
5	リスク分析と評価②
6	情報セキュリティマネジメントシステム
7	セキュリティ評価
8	情報セキュリティ対策①
9	情報セキュリティ対策②
10	情報セキュリティ対策③
11	セキュリティ実装技術
12	セキュリティ関係法規①
13	セキュリティ関係法規②
14	まとめ
15	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	後期
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	15回
講師名	平田 賢一（非常勤講師）
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

医療情報管理科で学習した「表計算実習」における知識・技術をベースに、診療情報管理士として必要な情報収集・分析方法に関する応用技術を修得する。また、同時に統計学に関する知識や表計算ソフトを使用した統計方法についても学習していく。

(2) 行動目標

表計算ソフトを使用して、統計分析ができるようになる。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
出席状況	20%
演習に取り組む姿勢	20%
科目修得試験（実技）	60%

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

- ①診療情報管理士問題集（管理編）
- ②講師の準備するプリント

(2) 参考文献等

(3) その他

5 講義内容

回	講 義 内 容
1 ～	表計算復習① 表計算復習② 統計の基礎① 統計の基礎② 統計の基礎③ 表計算ソフトを使用した統計方法 医療分野における統計の種類 表計算演習① 表計算演習② 統計演習① 統計演習②
15	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	15回
講師名	馬原 裕加里（専任講師）
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

医療事務で重要とされる診療報酬請求事務の基礎知識や技能を基に医事コンピュータシステムによるレセプト作成技術を習得する。

(2) 行動目標

- ①医療機関における診療情報の流れに触れ医事会計の入力方法を操作する。
- ②カルテに記載されている診療情報と診療報酬の関わりを関係づける。
- ③各診療科での点数算定上の注意点を系統立てる。
- ④多くの事例を演習し、正確・迅速・詳細に分析する。
- ⑤医事コンピュータ技能検定2級を取得する。

2 学習上の注意

配布された資料・プリント類は確実に保管し、演習や検定に活用すること

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
受講態度・出席状況	30%
科目修得試験	70%

4 使用テキスト・参考文献等

- 診療点数早見表
- 薬価基準・点数早見表
- 医事コンピュータ技能検定問題集

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	基本操作の復習 (外来) ①
2	基本操作の復習 (外来) ②
3	基本操作の復習 (外来) ③
4	入院カルテの入力①
5	入院カルテの入力②
6	入院会計の入力①
7	入院会計の入力②
8	入力総合演習①
9	入力総合演習②
10	入力総合演習③
11	入力総合演習④
12	入力総合演習⑤
13	入力総合演習⑥
14	入力総合演習⑦
15	科目修得試験

D P C 演習

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	馬原 裕加里（専任教員）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①診療報酬請求業務の基本をマスターし、外来患者・入院患者に関する保険請求知識を身につける。
- ②D P C 運用の診療報酬請求の基本を理解する。
- ③診療報酬請求事務従事者として正しい請求能力・より高度な処理能力を理解する。

(2) 行動目標

- ①医療保険制度等・公費負担医療制度の概要を説明できる。
- ②医療関係法規の基礎知識を応用する。
- ③D P C の制度の成り立ちから仕組みを説明できる。
- ④D P C 運用におけるコーディング法と監査手法を習得する。
- ⑤D P C 運用におけるさまざまな分析法を習得する。
- ⑦診療報酬請求事務能力試験に合格するための基礎を習得する。

2 学習上の注意

D P C 制度について概論を学び、請求事務の復習及び演習を行います。

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
受講態度・出席状況	20%
レポート	20%
科目修得試験	60%

4 使用テキスト・参考文献等

診療点数早見表
D P C 点数早見表

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	医療保険制度・公費負担医療制度
2	保険医療機関等 療養担当規則
3	診断群分類の基礎知識
4	対象病院・準備病院 提出データ 診断群分類樹形図と点数表の構造
5	点数の算定方法 医療機関係数
6	診断群分類 D P C 請求の実務知識
7	対象患者・対象外患者 包括の範囲
8	入院期間 再入院 病名 I C D コーディング
9	D P C コーディング 手術、手術・処置等
10	コーディングの算定の事例①
11	コーディングの算定の事例②
12	コーディングの算定の事例③
13	コーディングの算定の事例④
14	コーディングの算定の事例⑤
15	科目修得試験

履修学年 第1学年
 履修時期 前期
 履修時間数 30時間
 単位数 2単位
 授業回数 15回
 講師名 馬原 裕加里（専任教員）
 授業形態 講義
 備考

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①診療情報管部門の業務内容の実務を理解することにより、医療情報の管理・活用法を身につける。
- ②診療情報に関わる関連法規の知識を得て、診療情報管理の社会的役割を認識する。

(2) 行動目標

- ①診療情報管理部門の日常業務を説明する。
- ②診療情報の収集について、監査、診療情報のデータベース化等を行う。
- ③診療情報の管理について、日常業務のあり方からあるべき姿を説明する。
- ④診療情報の活用について、実例より分析をおこなう。
- ⑤診療情報管理士認定資格の知識を取得する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
受講態度・出席状況	30%
科目修得試験	70%

4 使用テキスト・参考文献等

日本病院会通信教育 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ
 日本診療情報管理学会編集 診療情報学

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	診療情報管理士について
2	診療情報管理士とは何か、診療情報管理士の業務指針
3	診療情報管理士に求められる資質
4	知能と技能、視点
5	診療情報管理士の基本業務
6	診療情報を安全に管理する、点検する、有効に活用する、提供する業務
7	個人情報保護の視点からの保管管理
8	紙カルテ運用における診療情報管理
9	電子カルテ運用における診療情報管理
10	診療情報の提供に係る業務
11	診療情報管理士による改善への取り組み
12	医療の質の評価、医療安全管理、チーム医療、病院経営
13	診療情報管理士の活動組織
14	診療情報管理室、診療情報管理委員会、適切なコーディングに関する委員会
15	科目修得試験

履修学年 第1学年
 履修時期 前期
 履修時間数 15時間
 単位数 1単位
 授業回数 8回
 講師名 馬原 裕加里（専任教員）
 授業形態 講義
 備考

1 学習目標

(1) 一般目標

DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務知識を得て、社会的役割を認識する。

(2) 行動目標

- ①DPC制度について説明する。
- ②医師事務作業補助者業務について説明する。
- ③がん登録の実務について説明する。
- ④診療情報管理士認定資格の知識を取得する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
受講態度・出席状況	30%
科目修得試験	70%

4 使用テキスト・参考文献等

日本病院会通信教育 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ
 診療情報管理士通信教育付加コース DPC コーステキスト
 院内がん登録標準登録様式

5 講義内容

回	講義内容
1	DPC制度と実務 DPCと診療情報管理士との関わり
2	影響調査と診療情報管理士
3	DPCと影響調査 病院指標の公開と診療情報管理士
4	データ精度と診療情報管理士 DPCデータの活用
5	医師事務作業補助者業務について 医師事務作業補助者の業務と体制 医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わり
6	がん登録の実務について わが国のがん対策とがん登録
7	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）について
8	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	後期
履修時間数	16時間
単位数	1単位
授業回数	8回
講師名	福元 進 (専任教員)
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

本講義は、診療情報管理士受験要件科目である。

統計的手法の理解、医療評価指標、経営管理指標について理解を深め、活用していく。

(2) 行動目標

グラフの作成から活用、各指標を用いた計算を行い慣れていく。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
科目修得試験	90%
出席状況・受講態度	10%

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ

診療情報管理士問題集

5 講義内容

回	講義内容
1	データのグラフ表現
2	医療評価指標の種類
3	経営管理指標の種類
4	各評価指標を用いた計算
5	倫理研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針
6	統計的仮説検定演習①
7	統計的仮説検定演習②
8	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	16時間
単位数	1単位
授業回数	8回
講師名	鶴田 来美 (非常勤講師)
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

情報を活用する手段の一つとして、統計的方法による分析の基礎と視覚化の方法を修得する。

(2) 行動目標

統計的方法とデータのグラフ表現を理解する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
受講態度・出席状況	30%
科目修得試験	70%

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ

5 講義内容

回	講義内容
	統計的方法
1	(1) 変量と尺度
2	(2) 記述統計
3	(3) 推測統計の基礎
4	(4) 統計的推定
5	(5) 統計的仮説検定
	データのグラフの表現
6	(1) データの視覚化
7	(2) 各種のグラフ
8	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	通年
履修時間数	45時間
単位数	3単位
授業回数	23回
講師名	丸山 こずえ (非常勤講師)
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

情報の処理の効果的な処理方法である「分類法」の理論と技法を習得し、ICD-10の活用能力を高め診療情報管理に従事するものとしての知識を身につける。関連するDPC制度及びがん登録に関する知識も身につける。

(2) 行動目標

- ①国際疾病分類を説明できる。
- ②医療における情報を有効かつ活用するために必要な具体的管理方法と業務内容を列記できる。
- ③分類コードを行うために定められたルールを説明できる。
- ④診療情報管理士認定資格の知識を習得する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
受講態度・出席状況	30%
科目修得試験	70%

4 使用テキスト・参考文献等

日本病院会通信教育 診療情報管理士テキスト 診療情報管理IV

5 講義内容

回	講義内容
1	診療情報管理論Ⅱ 9-3 診療情報管理士の基本業務
2	診療情報管理論Ⅲ 10-1 DPC制度と実務
3	10-2 医師事務作業補助者業務について
4	10-3 がん登録の実務について
5	国際統計分類 I 11章
6	国際疾病分類論
7	国際疾病分類 (ICD) 説明
8	国際疾病分類 (ICD) の現状と課題・他の国際疾病分類ファミリー
9	国際疾病分類 (ICD10) の使用、基本体系及び各章の特徴と構成
10	主要病態の選択ルール
11	原死因選択ルール
12	・死亡診断書記載意義
13	・原死因コーディングのための注釈
14	・周産期死亡コーディングルール
～	まとめ (認定試験対策含む)
23	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	馬原 裕加里（専任教員）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

ICD-10 の具体的な使用方法を理解することによりそれらの活用能力を身につけ診療情報管理に従事するものとして分類の知識を深める

(2) 行動目標

- ①国際疾病分類の具体的な使用方法を説明できる。
- ②診療情報管理士認定資格の知識を習得する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
受講態度・出席状況	30%
科目修得試験	70%

4 使用テキスト・参考文献等

- ①日本病院会通信教育 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ
- ②ICD-10 2013 準拠 第1巻「内容例示表」 (財団法人厚生統計協会)
- ③ICD-10 2013 準拠 第3巻「索引」 (財団法人厚生統計協会)

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	国際疾病分類 (ICD) の実際の利用
2	国際疾病分類 (ICD) 編さんの基準とその特徴
3	
4	国際疾病分類 : ICD-10 の使用上の注意点と問題
5	「ICD-10」 で使用されている記号と符号
6	複数・複合病態分類及び二重分類
7	国際疾病分類 (ICD) 以外の疾病分類、処置分類
8	ICD-9-CM で使用される記号と符号
9	腫瘍学分類 (ICD-O) 及び新生物の形態の構成等
10	用語の定義、ICD 索引表の構造および傷病名の構成
11	WHO-FIC (WHO 国際分類ファミリー) と ICF (国際生活機能分類)
12	コーディング演習
13	コーディング演習
14	まとめ
15	科目修得試験

	試験対策（医学基礎）	
--	-------------------	--

履修学年	第1学年
履修時期	通年
履修時間数	90時間
単位数	3単位
授業回数	45回
講師名	崎田 ゆかり（専任教員）
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

診療情報管理士認定試験にむけて、医療情報管理科に於いて学んできた医学基礎科目の復習をし、認定試験にむけて医学基礎科目の知識の習得を図る

(2) 行動目標

- ①指定問題集を解き、試験範囲とポイントを理解して試験対策に主体的に取り組むことができる
- ②人体構造および機能について理解し、障害や疾患との関係がわかる
- ③主な疾患について、その特徴や症状、検査、治療について要点をのべることができる

2 学習上の注意

指定された課題を確実にやり遂げてください

小テスト（100問）で60点以下の場合、再テストを行います

3 評価の方法及び基準

科目修得試験 50%、小テスト 30%、提出物・出席状況・態度 20%

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理テキストⅠ 基礎・医学編 日本病院会

診療情報管理テキストⅡ 基礎・医学用語編 日本病院会

診療情報管理士問題集 基礎・医学編 日本病院会

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	小テスト（5章）、問題集を解く（6章）
2	問題集を解く（6章）
3	小テスト（6章）、問題集を解く（7章）
4	問題集を解く（7章）
5	小テスト（7章）、問題集を解く（8章）
6	問題集を解く（8章）
7	小テスト（8章）、疾患学習（5～8章）
8	独自問題作成（5、6章で各章5問ずつ）
9	独自問題作成（7、8章で各章5問ずつ）
10	問題集を解く（9章）
11	問題集を解く（9章）
12	小テスト（9章）、問題集を解く（10章）

13	問題集を解く（10章）
14	小テスト（10章）、問題集を解く（11章）
15	問題集を解く（11章）
16	小テスト（11章）、疾患学習（9～11章）
17	独自問題作成（9～11章で各章5問ずつ）
18	独自問題作成（9～11章で各章5問ずつ）
19	問題集を解く（12章）
20	問題集を解く（12章）
21	小テスト（12章）、問題集を解く（1章）
22	問題集を解く（1章）
23	小テスト（1章）、問題集を解く（2章）
24	問題集を解く（2章）
25	小テスト（2章）、問題集を解く（3章）
26	問題集を解く（3章）
27	小テスト（3章）、問題集を解く（4章）
28	問題集を解く（4章）
29	小テスト（4章）、疾患学習（1～4章）
30	疾患学習（1章～4章）
31	独自問題作成（1、2章で各章5問ずつ）
32	独自問題作成（3、4章で各章5問ずつ）
33	小テスト（1章）、先天奇形・変形及び染色体異常について（3章）
34	小テスト（3章）、感染症および寄生虫症について（4章）
35	小テスト（4章）、悪性新生物について（5章）
36	小テスト（5章）、血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害（6章）
37	小テスト（6章）、内分泌・栄養及び代謝疾患（6章）
38	小テスト（2章）、精神および行動の障害・神経系の疾患（7章）
39	小テスト（7章）、眼及び付属器の疾患・耳および乳様突起の疾患（7章）
40	小テスト（12章）、循環器の疾患（8章）
41	小テスト（8章）、呼吸器の疾患（8章）
42	小テスト（9章）、消化器系・腎尿路生殖器系の疾患（9章）
43	小テスト（10章）、周産期系の疾患
44	小テスト（11章）、皮膚・筋骨格系の疾患
45	科目修得試験

試験対策（管理）

履修学年 第1学年
 履修時期 後期
 履修時間数 60時間
 単位数 2単位
 授業回数 30回
 講師名 福元 進（専任教員）
 授業形態 講義
 備考

1 学習目標

(1) 一般目標

診療情報管理士受験指定教科修得科目のうち、専門・診療情報管理編についての復習を行い、理解を高める。

(2) 行動目標

- ①診療情報管理士 教育問題集の問題を何度も解く
- ②診療情報管理士認定試験に合格する

2 学習上の注意

繰り返し同じ問題を解き、用語を少しでも多く覚えていく

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
小テスト	30%
科目修得試験	60%
出席状況・受講態度	10%

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門・診療情報管理編
 診療情報管理士 教育問題集（専門・診療情報管理編）

5 講義内容

回	講義内容
1	オリエンテーション（認定試験概要、試験対策要領等）
2	問題集の回答・解説（1章）
3	問題集の回答・解説（1章）
4	問題集の回答・解説（1章）
5	小テスト（1章）、問題集の回答・解説（2章）
6	問題集の回答・解説（2章）
7	問題集の回答・解説（2章）
8	小テスト（2章）、問題集の回答・解説（3章）

9	問題集の回答・解説（3章）
10	問題集の回答・解説（3章）
11	小テスト（3章）、問題集の回答・解説（4章）
12	問題集の回答・解説（4章）
13	小テスト、問題集の回答・解説（5章）
14	問題集の回答・解説（5章）
15	問題集の回答・解説（5章）
16	小テスト、問題集の回答・解説（8章）
17	問題集の回答・解説（8章）
18	問題集の回答・解説（8章）
19	小テスト、問題集の回答・解説（9章）
20	問題集の回答・解説（9章）
21	問題集の回答・解説（9章）
22	小テスト（9章）、問題集の回答・解説（10章）
23	問題集の回答・解説（10章）
24	問題集の回答・解説（10章）
25	小テスト、グループ活動（独自問題の作成）
26	グループ活動（独自問題の作成）
27	グループ活動（独自問題の作成）
28	グループ活動（苦手分野の共有）
29	グループ活動（苦手分野の共有）
30	科目修得試験

試験対策（総合）

履修学年	第1学年
履修時期	後期
履修時間数	210時間
単位数	7単位
授業回数	105回
講師名	福元進（専任教員）、馬原裕加里（専任教員）、崎田ゆかり（専任教員）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

診療情報管理士受験指定教科修得科目の総まとめとして、基礎・医学、専門・診療情報管理、専門国際疾病分類法について復習し、その知識を確かなものとする。

(2) 行動目標

- ①医学の基礎科目を理解している
- ②診療情報管理科目を理解している
- ③国際疾病分類法科目を理解している
- ④診療情報管理士認定試験に合格する

2 学習上の注意

診療情報管理士認定試験模擬試験を週1回計6回程度実施します。（1月より）

3 評価の方法及び基準

評価項目	割合
模擬試験結果	80%
出席状況・受講態度	20%

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理士テキスト・問題集 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編
 診療情報管理士テキスト・問題集 診療情報管理Ⅲ 専門・診療情報管理編
 診療情報管理士テキスト・問題集 診療情報管理Ⅳ 専門・国際疾病分類法編

5 講義内容

回	講義内容
1 ～ 105	診療情報管理士認定試験模擬問題演習、解答と解説を中心に進めます。

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	90時間
単位数	3単位
授業回数	45回
講師名	崎田 ゆかり (専任教員)
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

診療情報管理学会学術大会では、学生セッションの部門がある。各グループで、調べる演題を決め、アンケート等の調査を行い抄録作成する。抄録をもとに学内発表を行う。

(2) 行動目標

- ①各グループで演題を決定する。
- ②演題に対する調査を行う。
- ③抄録を作成する。
- ④パワーポイントを作成する。
- ⑤学内発表を行う。
- ⑥診療情報管理学会学術大会に参加する。

2 学習上の注意

人任せにせず、積極的にグループ活動を行うこと。
提出期日を守ること。

3 評価の方法及び基準

グループワーク 50%、発表内容 30%、出席状況・態度 20%

4 使用テキスト・参考文献等

日本診療情報管理学会学術大会抄録集

5 講義内容

回	講義内容
1	オリエンテーション
2	演題設定①
3	演題設定②
4	演題設定③
5	目的・方法を考える①
6	目的・方法を考える②
7	目的・方法を考える③
8	目的・方法を考える④
9	目的・方法を考える⑤
10	方法の実施①
11	方法の実施②
12	方法の実施③
13	結果をまとめる①
14	結果をまとめる②
15	考察①
16	考察②
17	考察③
18	抄録作成①
19	抄録作成②
20	抄録作成③
21 ～ 39	発表内容演習
40	学内発表リハーサル
41	学内発表リハーサルの振り返り・修正
42	学内発表リハーサルの振り返り・修正
43	学内発表
44	学内発表の振り返り
45	学内発表の振り返り

全学連携演習Ⅰ・Ⅱ
～ごちゃまぜスクール～

履修学年	第1学年・第2学年
履修時期	第1学年 通年・第2学年 通年
履修時間数	各学年 15 時間
単位数	各学年 1 単位
授業回数	8 回
講師名	各グループ担当教員
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

本校では、医療、介護福祉、保育、幼児教育分野それぞれの専門的な学習を行っている。将来、それぞれの専門職として活躍するためには、他の専門職と連携を図りながら実践していく。その第一歩として、本校で学ぶ仲間と交流を図りながら、自らが学ぶ学習領域以外にも触れていき、その経験を将来それぞれの立場で活用可能なものにしていくことを目的とする。

(2) 行動目標

- (1) 学年、学科を越えた仲間との積極的な交流を図る。
- (2) 自らの学習領域以外の分野に触れて理解を深める。
- (3) 交流の中で、意見交換を行いながら、各個人が意見や考えを持ち、それをもとに主体的に行動する態度を涵養する。

2 学習上の注意

別冊「全学連携演習ファイル」にて、実施場所、内容等を事前に確認しておくこと。

3 評価の方法及び基準

評価の対象及び基準

出席状況及び活動状況（60%）、活動記録及び総括レポート提出（40%）

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

なし

(2) 参考文献等

なし

(3) その他

別冊「全学連携演習ファイル」を毎回持参しておくこと

5 講義内容

回	講義内容
1	オリエンテーション（主旨説明及びグループ内交流等）
2～7	各学科体験授業及びグループ間交流
8	まとめ（「全学連携演習を振り返って」レポート作成）

※各グループに応じて活動回の内容等が指定されます。

別冊「全学連携演習ファイル」を参照すること。

令和2年度
教 育 要 項

発行日 令和2年4月1日

学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
教務部 医療情報管理専攻科

〒889-1701 宮崎県宮崎市田野町甲1556-1

TEL 0985-86-2271

FAX 0985-86-2273

URL <http://www.toyomc.ac.jp>